



2017 年 2 月 19 日 (日)

12:30~15:30

(受付開始 12:00)

会場: 3 × 3 Lab Future

参加費: 無料

定員: 80 名 (先着順)

～平成 28 年度自然保護大賞受賞者による活動発表～

＜保護実践部門＞カナダガン調査グループ (神奈川県)

日本における大型垂種カナダガンの国内根絶の達成へ向けた活動

＜教育普及部門＞フィールドソサイエティー (京都府)

お寺と市民の二人三脚による環境学習活動

＜地域の活力部門＞佐護ヤマネコ稲作研究会 (長崎県)

ツシマヤマネコと共生する農村づくり

＜自然のちから部門＞あじ島冒険楽校 (宮城県)

限界集落の社会貢献 昔の子どもたちから未来の大人たちへ

＜子ども・学生部門＞青森県立名久井農業高等学校 TEAM FLORA PHOTONICS (青森県)

種差海岸におけるサクラソウ保全活動

＜沼田眞賞＞久貝勝盛 (沖縄県)

学校・地域・行政を巻き込み成功させたサシバ保護活動

＜選考委員特別賞＞富士通株式会社 (神奈川県)

ICT を活用した絶滅危惧種シマフクロウの生息保全支援

＜選考委員特別賞＞大谷里海 (まち) づくり検討委員会、大谷地区振興会連絡協議会 (宮城県)

東日本大震災後の気仙沼市大谷海岸周辺まちづくりの取り組み

～砂浜を埋め立てる防潮堤と防災計画の変更～

【プレゼンター】

亀山 章 日本自然保護大賞選考委員長、日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授

吉田正人 筑波大学大学院教授、日本自然保護協会専務理事

神谷有二 (株) 山と溪谷社 Yamakei Online 部部長 兼 デジタル事業推進室室長、日本山岳遺産基金渉外担当、日本自然保護協会理事

石原 博 三井住友信託銀行 (株) 業務部兼 経営企画部 CSR 推進室審議役、経団連自然保護協議会企画部会長、日本自然保護協会理事

高野 孝子 NPO 法人エコプラス代表

イルカ IUCN 親善大使、シンガーソングライター、絵本作家

主催: 公益財団法人 日本自然保護協会

協賛: 経団連自然保護協議会

後援: 環境省、国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J)、国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)、自然保護憲章普及協議会

【申込先】

資料準備のため下記の WEB フォーム、またはお電話、E-mail で お申し込みください。(当日参加可)

＜申込フォーム＞ <https://goo.gl/zByYkr>

＜TEL＞ 03-3553-4101

＜E-mail＞ award@nacsj.or.jp

日本自然保護協会 (NACS-J) 日本自然保護大賞担当

【会場】 3 × 3 Lab Future

東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・JX ビル 1 階
東京メトロ東西線・千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・都営三田線
「大手町駅」(C10 出口) より徒歩約 2 分

